

# 「奈比賀文化史」刊行

## 安芸市の地域住民ら調査

安芸市奈比賀地区なひがの生活の記憶を記録した地誌「安芸市奈比賀文化史」Ⅱ写真Ⅱが刊行された。高知県立大学の教員や学生、地区住民らが古老に聞き取り調査した成果をまとめている。

奈比賀地区は人口約100人の伊尾木川上流の山間集落。同市や住民らが「まちづくり懇談会」をつくり、地区の歴史文化を地域活性化につなげたいと、2014年から同大の橋尾直和教授のゼミと協力し調査を進め

てきた。

16年に地区の歴史や伝統行事をまとめた冊子「奈比賀ナビ!!」(B5判、16ページ)を発行。「文化史」は冊子を発展させた地誌で、民俗学や言語学の視点を加えて橋尾教授が編集した。

文献調査や聞き取り調査で集めた地区の年中行事や方言、民話、民具などを網羅的に紹介。妊娠や婚礼、厄払い、葬送などの人生儀礼については、戦前と戦後の変化に注目してまとめている。

また、公民館活動や地域の課題にも着目。住民の交流の場となっている「10円カフェ」「百円横丁」の活動や、獅子舞などの神社祭礼を守っていくための課題も整理されている。

A5判、186ページ。希望者には、同市企画調整課まちづくり係で配布。問い合わせは、同課(0887・35・1012)へ。

(楠瀬慶太)

## 生活の記憶 地誌に

